

コンテンツツーリズム学会研究会

コンテンツツーリズム学会では、年に2回開催している学会シンポジウム・学会大会以外でのコンテンツツーリズム現象に関する議論の場として、コンテンツツーリズム学会研究会を開催しています。

■対象者

- ・コンテンツツーリズムを研究する研究者
- ・修士課程以上の大学院生
- ・コンテンツツーリズム現象に興味がある企業・行政担当者

※学会員／非学会員を問わない。

【第1回研究会】

- 日程：2月3日（土）14:15-16:30
- 場所：法政大学新一口坂校舎 305 教室
- 報告者：菊地映輝（慶應義塾大学 SFC 研究所）
- 報告タイトル「コンテンツツーリズム現象と秋葉原の地域イメージ形成」
- 概要：本報告では、秋葉原の地域イメージ形成にコンテンツツーリズム現象が大きな役割を果たしたことを、秋葉原の歴史を整理し直す形で提示する。その上で今日の秋葉原の「衰退」とも呼べる状況を、街の実態とコンテンツによるイメージ形成の相互構成関係から論じる。
- 参加者数：12名



【第2回研究会】

- 日程：6月17日（日）
場所：法政大学・新一口坂校舎 303 教室
時間：13:00～16:00
報告者：岩本洋一氏（久留米大学准教授）
報告タイトル：「学生によるまちなかブランディング」
概要：コンテンツツーリズムを広義の文脈で位置づけ、これまで久留米で取り組んできた映画などのコンテンツ作品を活用した学生のまちづくりの実践活動を紹介。
参加者数：10名



【第3回研究会】

日程：9月9日（日）

場所：法政大学・新一口坂校舎 305 教室

時間：13：30～16:30

報告者：上岡磨奈（慶應義塾大学社会学研究科博士課程）

報告タイトル：ファンツーリズムの共同性をつなぐの創出ーインドネシア・ジャカルタの事例（仮）

概要：観光地として日本では存在感の薄いジャカルタに JKT48 を目当てに訪れた「ファン」達は現地の文化、情報にどのようにアクセスし、関わっているのか、進行中のインタビュー調査について報告を行う。

参加者数：10 名

